



◆当面する重点作業

- 仕上げ摘果の作業をすすめる（6月中旬まで）
低温の影響で着果量が少ない場合は、収量確保を優先し、健全果が少ない場合は小玉やサビ果・変形果も残し、強樹勢にならないようにする。
ふじの変形果は7月よりわかりやすくなるので、引き続き見直し摘果を1～2回実施しできるだけ高品質・適玉生産に努める。
- 徒長枝の発生が多くなるので、徒長枝整理を行う。（30cmに1本残す）
日焼け防止や側枝育成用・養分吸い上げ用は残し、薬剤がかかりやすくする。
- うどんこ病の被害枝は2～3芽多く切り取り、除去を行う。
- フラン病の枝は、見つけ次第、切除・治療・焼却を適切に行う。多発傾向。
- メンチュウの発生が見られ場合は、背中の徒長枝や根元のヒコバエを整理し、風通しを良くする。
- スモモヒメシンクイ対策として、りんご園等にある自家用に近いプルーン・すももの薬剤防除・耕種的防除の徹底を図り、発生量の削減を図る。
- 梅雨になると、炭疽病・輪紋病の果実感染や褐斑病感染の時期を迎え重要な防除時期となる。降雨が続く場合は散布間隔が空かないように実施する。
- 支柱立てを実施し、主枝先端まで養水分を流れやすくさせ、高品質生産を図る。
- 梅雨時期となるので、水が溜りやすい園では根腐れしやすくなるので、排水対策を行う。

◆第7回薬剤散布について

- 散布時期・・・6月3日(土)～7日(水) 散布日 _____ 月 _____ 日
- 調合量・・・水1000ℓ 当り ※混用順に記載。

| 農薬名 | 使用量 | 対象病虫害 | 収穫前 |
|---------------|------|--------------------------------|--------|
| 展着剤 | 10ml | — | — |
| (ダニゲッターフロアブル) | 50ml | ハダニ類 | 前日まで |
| Ⓜダイアジノン水和剤34 | 100g | リンゴワタムシ・シツクイムシ類・ハマキムシ類・カイガラムシ類 | 30日前まで |
| ペンコゼブ水和剤 | 200g | 輪紋病・炭そ病・すす斑病・すす点病・黒星病・斑点落葉病 | 30日前まで |

- 散布量 …………… 10a 当り⇒500ℓ 以上
- 散布上の留意事項
 - ①サンつがるでは日持ち向上を、ふじ・シナノゴールド・紅玉などで着果量の少ない園では、ビターピット防止を目的にスイカル、カルビタのいずれか1,000倍（水1000ℓに100g）又は、カルタス、ストピットⅡのいずれか500倍（水1000ℓに200g）を加用してもよい。（収穫前までに3回以上散布）
 - ②炭疽病・輪紋病の果実感染の時期を迎え重要な防除時期であるので、丁寧な散布と降雨が多い場合は散布間隔を狭めて実施する。
 - ③展着剤をササラ3,000倍（水1000ℓに33ml）に代えると濡れ性がよくなり、農薬の汚れが軽減できる。
 - ④7月中旬頃より収穫する品種（祝・人着つがる）は散布時期が遅れないようにする。

⑤ハダニ類の発生が見られる場合はダニゲッターフロアブル2,000倍(水100ℓに50ml)を加用散布する。

殺ダニ剤樹上散布の3～5日前に草を刈り取るか、除草剤を散布して防除効果を高める。ダニゲッターフロアブルは梨・オウトウ・ぶどうの新梢や一部の野菜に薬害が出る場合があるので、飛散しないように注意する。

⑥⑩ダイアジノン水和剤に代えてコルト顆粒水和剤3,000倍(水100ℓ当り33g)を使用してもよい。

⑦褐斑病が心配な場合は、オンリーワンフロアブル2,000倍(水100ℓ当り50ml)又はユニックス顆粒水和剤47の2,000倍(水100ℓに50g)を加用散布する。

◆果実の日焼けについて

果実の着果角度により日焼け程度は変化するので、仕上げ摘果時に注意する。

果実が斜めに着果していると日焼けしやすい。まっすぐに垂れている果実は日焼け温度になりにくいが、15度傾くと少し日焼けが発生しやすくなり、30度傾くと10倍以上日焼けしやすくなる。

南～西側で枝の上に果実が載っている場合は大抵日焼けになる。

◆受粉種のメイポールの摘果について

早期に摘果・せん定を行って隔年結果を防止してください。

◆りんごフェザー苗(定植後の管理)

1. 誘引

①主幹を支柱に固定・・・固定した方が伸びは良い。

②長いフェザーの下方誘引 45度 引きすぎない。

短いフェザーはそのままでよい

誘引時期が遅くなると新梢が上向きに伸びやすい(枝がJの字になる)

2. 生育が不良な場合

①台木地上部が長すぎないか・・・地上部を20cm以内にする。

②深植えしていないか・・・呼吸できない・水がたまる。

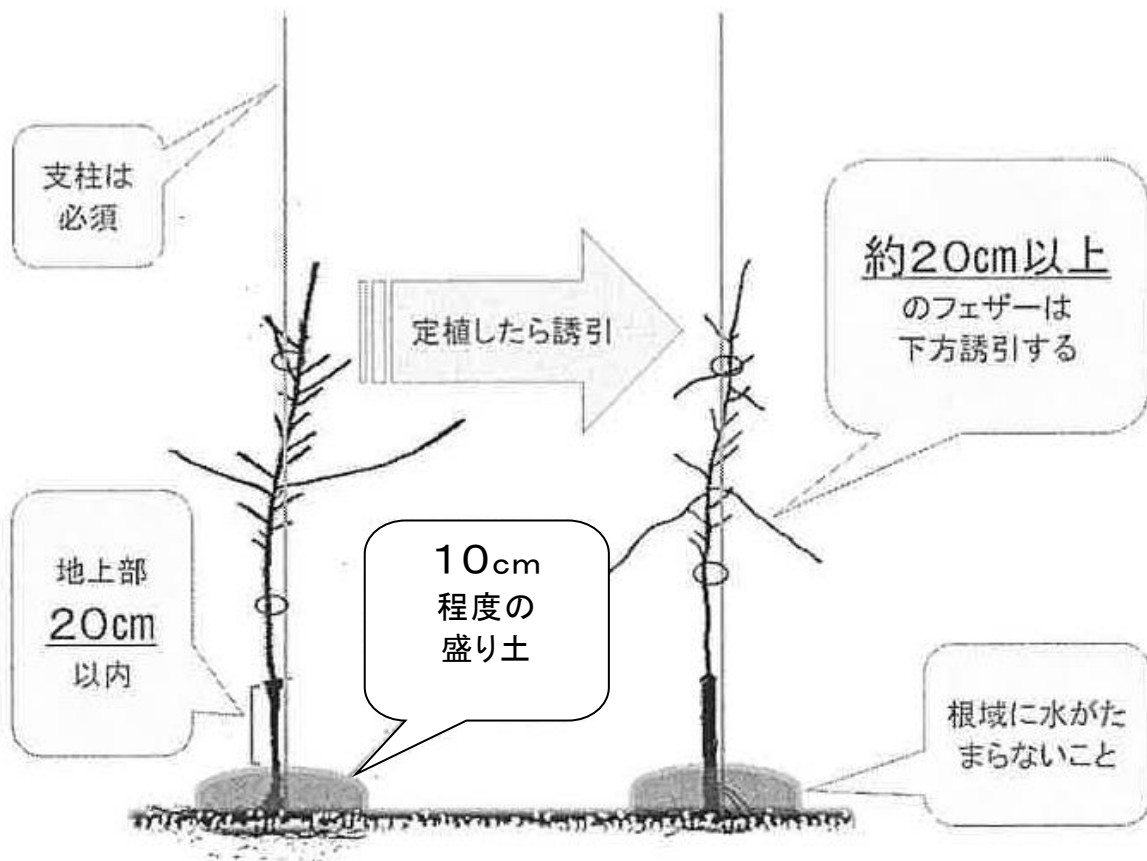
③根域が確保できているか・・・土が固い・草が茂っていると根が伸びない。

④接ぎ木テープが食い込んでいないか。

⑤排水が良いか・・・降雨後に園地に水たまりが出来ていないか確認。

⑥施肥・葉面散布の実施・・・弱りすぎていると吸収できない為効果が無い。肥料焼けに注意。

⑦管理(摘果・草刈り・乾燥防止のワラ・病虫害防除・かん水など)は適正か。



《栽培に関する問合せ》

寺澤（篠ノ井西部・信田）：080-1188-5229／外谷（篠ノ井東部）：080-8048-6602

松橋（松代）：090-4816-6297／佐藤（川中島）：090-7179-9866

根津（更北）080-1203-8576／元田（若穂）282-2002

吉澤（全域・編集担当）：090-2543-0365／営農販売部（本所）：292-0930

○果樹のアドバイザー（流通センター長兼務）

松澤（若穂）080-1191-5166／伊藤（篠ノ井東部）080-2239-6816

松坂（篠ノ井西部）080-1188-4131

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所／営農販売部（本所）：292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部／農業資材課：299-3311